

作成日 2026 年 2 月 2 日
(最終更新日 2026 年 2 月 2 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-968

課題名 : 精神病性障害関連遺伝子の解析研究

1. 研究の対象

①これまでに本研究室で行った「統合失調症の陰性症状の病態解明のための分子遺伝学研究」【承認番号 2010-581】において期間終了後の保管の同意を受けている、米国精神医学会精神疾患の分類と診断の手引 DSM-IV-TR による統合失調症の診断基準を満たし、罹患者本人から研究の目的・方法等に関する了解を得た上で文書で同意を得られた成人の罹患者および大学や病院の職員や罹患者の配偶者等で研究協力の意志のある成人の健常対照者より採取し、保管していた資料・試料

②精神疾患の遺伝的成因を明確にするための共同研究として大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室の「精神病性障害の遺伝子解析研究」の下に、Cognitive Genetics Collaborative Research Organization (認知ゲノム共同研究機構、以下 COCORO)として組織されている機関において、米国精神医学会が作成し世界で最も汎用されている精神疾患の診断基準である DSM-5 で精神病性障害と診断された罹患者とその家族、および、本研究の趣旨を理解し自由意志で参加に同意した健常者の資料・試料。

2. 研究期間

2016 年 4 月 (研究実施許可日) ~2030 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2016 年 4 月

提供開始予定日 : 2016 年 4 月

4. 研究目的

精神疾患、特に統合失調症の陰性症状 (感情の平板化、意欲や関心の低下、自閉、ひきこもり) や認知機能障害の形成・進行及び脳萎縮に関わる分子遺伝学的機序を解明し、さらに精神疾患に関与する遺伝子の多型を比較する事により、陰性症状の治療法・予防法の開発に繋げる

5. 研究方法

これまでに本研究室で申請・承認を受けた「統合失調症の陰性症状の病態解明のための分子遺伝学研究」【承認番号 2010-581】で収集解析した、統合失調症罹患者および健常者の臨床症状の評価、核磁気共鳴画像法(MRI)撮影による各脳部位 (前頭前野、帯状回、海馬、視床、扁桃体等) の容積計測、機能 MRI 撮像および近赤外分光法解析(NIRS)による脳機能評価、認

知機能評価、免疫細胞由来 RNA の遺伝子発現解析結果に加え、血液検体より DNA を抽出し多型解析を行い、これまでの知見との統合を行う。さらに共同研究機関である 認知ゲノム共同研究機構(COCORO)で集積した精神疾患罹患者と健常者の情報とその検体を用いた遺伝子多型解析、遺伝子発現解析を行い、上記のデータとの統合・解析を行う。

遺伝子多型・発現解析は、血液検体から抽出キットを用いて DNA・RNA の抽出を行う。抽出及び提供を受けた DNA・RNA 検体を精神疾患に関与していると考えられている遺伝子の SNP に対して TaqMan probe などの PCR 反応を用いて網羅的な解析を行い、その SNP に影響を受けると考えられる遺伝子に対して定量 PCR により定量を行う。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴

試料：血液、核酸

7. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信等により共同研究機関認知ゲノム共同研究機構（COCORO）へ提供します。

本学で作成した対応表は、当機関の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

認知ゲノム共同研究機構（COCORO）<https://byoutai.ncnp.go.jp/cocoro/>

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は公的資金です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院 精神科 富田博秋

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7262

tuhpsycjimu@gmail.com

当機関の研究責任者：東北大学病院 精神科 富田博秋

研究代表者：東北大学病院 精神科 富田博秋

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合